

部 長	次 長	課 長	担当課長	主 幹	主 査	主 任	担 当

報告日：平成年月日 報告者氏名：

会 議 名	第3回（仮称）狭山市協働事業ガイドライン策定市民検討委員会
開 催 日 時	平成23年11月1日(火) 午後6時30分～午後8時38分
会 場	狭山市役所 302会議室
出 席 者	（仮称）狭山市協働事業ガイドライン策定市民検討委員17名、 株式会社ラック計画研究所 前田文章氏（アドバイザー） 以上18名
議 題	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>3. 議 題</p> <p>（1）前回の振り返り</p> <p>（2）具体的な協働事業を実施するにあたって・ 「行政」の覚悟・「市民」の覚悟はどうあるべきか？</p> <p>（3）その他</p> <p>4. 閉 会</p>

<p>協議概要・ 決定事項</p>	<p>1. 開 会 小川市民部次長（協働事業担当課長）</p> <p>2. 委員長あいさつ 小山委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長とお会いする場面があり、熱い期待をかけられていると感じた。 ・9、10、11月は各地域で様々なイベントが開かれているが、その雰囲気を感じたいと思い、参加した。 11月も農業祭などイベントがあるが、それらは全て協働の活動である。さらに盛り上がり、成果があがるようなかたちにどのようにもっていくのか、そのようなことも協働を考えるうえでのひとつだと考えている。 ・11月末に第4回目の委員会が予定されているが、まとめの骨子を作成するということを考えながら本日も進めていければと考えている。 <p>3. 議 題</p> <p>(1) 前回の振り返り 株式会社ラック計画研究所 前田文章アドバイザー</p> <p>(2) 具体的な協働事業を実施するにあたって・ 「行政」の覚悟・「市民」の覚悟はどうあるべきか？</p> <p>a. 第3回庁内ワーキンググループの会議報告 前田文章アドバイザー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政からみた市民の覚悟は、なかなか言い当てていると思った。（小山委員長）
-----------------------	--

b. 議 事

- ・狭山市としてのまちづくりのしくみがみえていないので、効果的なしくみが必要（継続性のあるもの、市民がどこで情報を得ることができるかなど）。
- ・新しいものだけが協働ではないので既存の取り組みをどのように活用、評価、するのも考える必要がある。
- ・行政がトップレベルで市の進むべき方向を示す必要があるのではないか。（行政の覚悟として）
- ・行政が市民に求める協働と市民が行政に求める協働はすでに数多くあると思うので現状を把握し、考えていく必要がある。
- ・1人では対応できない悩みを取りまとめてネットワークや解決できる団体などに働きかけることができるようなしくみがあればいいのではないか。
- ・行政や自治会は公平、公正を守らなければならないので、行政が手を出せない部分をNPOや市民活動でサポートする。
- ・継続性のある活動を行うためには有償のシステムが必要ではないか。
- ・制度は公平、公正でよいが、やる気のある人が恩恵をうけることができるようにしなければならない。
- ・各課がどのようなことを望んでいるのかを知りたい。
- ・全ての世代が集まるような取り組みをしていきたい。
- ・行政と本音で話をしてみたい。
- ・時代の変化と共に地域課題が増加し、その課題の解決が求められているが行政だけでは対応しきれないので、市民の力が必要になっている。
- ・市民が自分たちがやるという意識をもち、それを行政がサポートするという姿勢が重要。

	<p>(3) その他 事務局連絡 小川市民部次長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回連絡 次回第 4 回市民検討委員会は 11 月 24 日（木曜日） 午後 3 時から開催 庁内ワーキンググループとの合同開催の予定 <p>4. 閉 会 山岸市民部長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の貴重な意見を今後活かしていければと思う。 ・ 今だから、狭山だからという部分を考えていただければと考えている。
配布資料	別紙のとおり
事務局	市民部長 市民部次長（協働事業担当課長） 自治振興課協働事業担当 主査・主事補 元気大学担当 課長 以上 5 名